

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2015-126906(P2015-126906A)
 【公開日】平成27年7月9日 (2015.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2015-044
 【出願番号】特願2015-38840(P2015-38840)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月9日 (2015.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
前記遊技制御手段からのコマンドにもとづいて演出を実行する演出制御手段とを備え、
前記演出制御手段は、
可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることを示すコマンドを受信し
たことにもとづいて、演出を実行可能な演出実行手段を備え、
可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることを示すコマンドを受信し
た場合であっても、所定条件下では演出を実行しない
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技を行うことが可能なパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

また、遊技機として、可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されるか否か
を事前に予告する演出を実行するように構成された遊技機がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

特許文献 1 に記載された遊技機では、可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されるか否かを事前に予告する演出を実行したとしても、状況によっては期待を抱かせることができず、遊技の興趣が十分に図られていないという課題がある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明は、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、遊技制御手段からのコマンドにもとづいて演出を実行する演出制御手段とを備え、演出制御手段は、可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることを示すコマンドを受信したことにもとづいて、演出を実行可能な演出実行手段を備え、可変進入装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることを示すコマンドを受信した場合であっても、所定条件下では演出を実行しないことを特徴とする。

そのような構成によれば、遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】